

第6学年 社会科学習モデル指導案

1. 単元名 「世界中の中の日本～日本と関係の深い国々～」

2. 本時について

(1) 本時の目標

日本と外国との具体的な文化や習慣の違いに気づく。また、これから外国の人たちと共生していくための自分なりの考えを持つことができる。

(2) 本時の展開(最後の10分の展開)

分	教師の支援	学習活動
3	<p>●外国人から見た日本人や、日本人から見た外国人のイメージで「違うな」と思うことについて考えさせる。</p>	<p>T：これまで、日本人の生活が外国人に間違ったイメージで伝わっていると思った場面や経験はありませんか。</p>
	<p>☆ワークシート(マンガ資料)「おたがいの国に対するイメージって？」を配布し、3人はどんなことを思っているか考えさせる。</p>	
2	<p>●自分の国がもたれている誤解されたイメージについて、3人はどのように考えたかワークシートに記入させる。</p>	<p>T：ワークシートを読んで、アメリカ、中国、日本の人はそれぞれどんなことを考えたのでしょうか。</p>
2	<p>●クラス全体で感想を共有する。 ※自分にも、ワークシートと似たような誤解されたと感じた経験があれば、伝えるようにさせる。</p>	<p>T：3人はどんなことを考えたのでしょうか。 C：特徴ある文化を、国のイメージとして重ねてしまっていることが多いみたいだね。 C：もっとよく外国のことも知らないと、誤解したままになってしまうね。</p>
1	<p>●「職業シート」を配布し、海外で教育支援をしている方の話から、教育に理解を得ることへの難しさや、現地の人々の考え方や文化を尊重することの大切さなどについて知らせる。</p>	
2	<p>☆キャリアの宝につながる解説(児童への落とし込み)をする。</p>	
	<p>外国にはそれぞれに特徴のある文化や習慣があり、それぞれの国の気候や伝統にあった暮らしをしています。最近では、インターネットでいろいろな国の情報が簡単に分かるようになりました。しかし、相手のことをよく知らないと、ワークシートのように困った誤解が生まれてしまいます。校内にも外国のお友達がいるかもしれませんね。また、将来みなさんが外国に出かけたり、住んだりすることもあるかもしれませんね。外国人と共に生きていくためには、まず互いの国をよりよく理解し合うことです。自分の目で、外国の文化や習慣、生活について調べたり考えたり体験したりすることが、理解し合うための第一歩になります。そうすることで、きっと気持ちの伝わる楽しいコミュニケーションがとれると思います。</p>	